

平和を作ったら 国が三つになっちゃった。

～ボスニア紛争後の民族分断問題～

渡邊ゼミ ボスニア探検隊

Q.これは誰でしょう？



背景・デイトン合意

独立賛成！

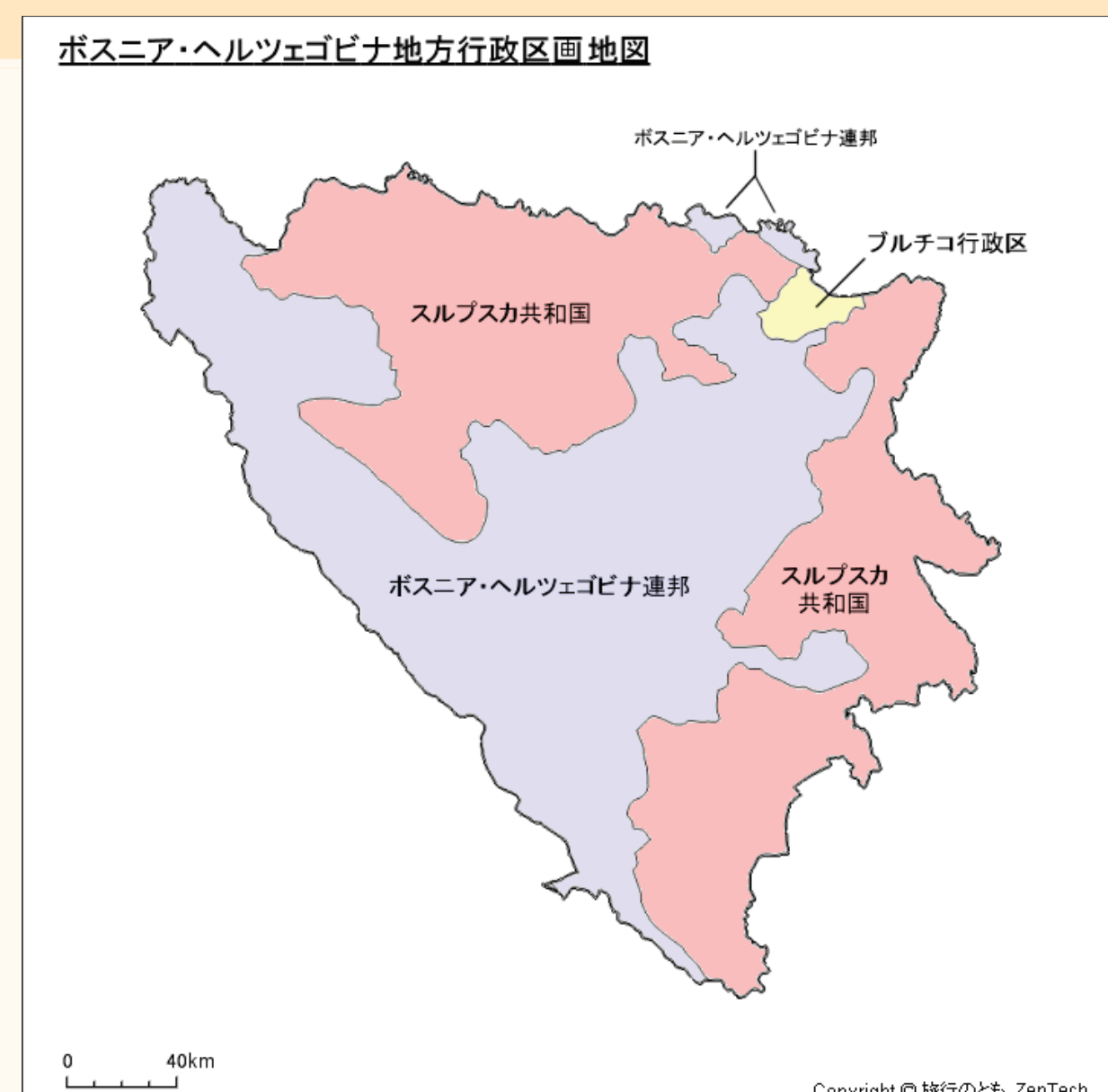


VS



独立反対！

大量虐殺



- ・憲法発布
→ボスニア連邦、スルプスカ共和国、ブルチコ特別地区の3つを国家の構成要素として認める
- ・ボスニア人、セルビア人、クロアチア人の3人種を構成民族と定める
- ・国家再建のために国際社会の補助を受ける
- ・各地方に政治の中核機関の設置
- ・民族間の地位平等のために各民族に拒否権の付与

成果：戦争の終結

- 課題：制度による民族分断の固定化とそれに伴う政治停滞を引き起こした
- ・拒否権の乱用により必要不可欠な法的制度や政策の整備が進まない
- この停滞を他民族のせいにする事による対立（民族分断）
- ・高等代表の度を越えた介入

国家再建のためのプロジェクト監視役

政治

機能不全の構造

- ・内戦終結と引き換えに、国を機能不全にする制度を憲法に組み込む
- ・3民族代表（ボシュニャク人、クロアチア人、セルビア人）による大統領評議会が、合意形成を常時不可能にしている
- ・民族政党が権力を分け合う構造が、組織的な汚職と政治改革の停止を招く

議席を獲得した政党の一覧です。完全な結果は以下



教育

一つの屋根の下二つの学校

- ・各民族がそれぞれ授業を受ける政策
→教科書の違い、登校時間の違い
- ・分断が子供世代に続く
→戦後社会に残る“見えない壁”を作り出す
- ・地域によって異なる教育機関が存在

他の民族がいる地域へ行くのは怖い。

選挙

民族分断の浸透度の違い

- ・政治レベル＝3つの民族主義政党
→自民族の利益優先、体制の固定化
- ・市民レベル＝民族意識は必ずしも強くない
→民意の反映がなされていない

「民族分断はセリフのようなもの」

結果

- ・一つの国でありながら、国内は分断されており多くの課題が未解決のまま
- ・ボスニアの歴史家は国家全体ではなく各民族の立場を代弁している
- ・各民族が自己完結的に問題を処理し、自らを被害者と主張することで、政治や教育などの根本的な分断の原因となっている

参考文献

- ・外務省（2000年）橋本敬市「ボスニア和平プロセスにおける上級代表の役割」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/pub/geppo/pdfs/00_3_2.pdf

・2022年ボスニア総選挙、
https://jmedia.wiki/2022/2022_Bosnian_general_election

- ・『紛争後社会と和解』月村太郎 晃洋書房
2024年9月20日発行

今後

- ・より発展している他のヨーロッパ諸国への人口流出
→国内発展の遅れ
- ・民族分断の悪化
→対立の顕在化